

スタートアップ・エコシステム 拠点都市の取り組みと成果

CENTRAL JAPAN
Startup Ecosystem Consortium

<令和5年7月>

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

エコシステム形成推進主体

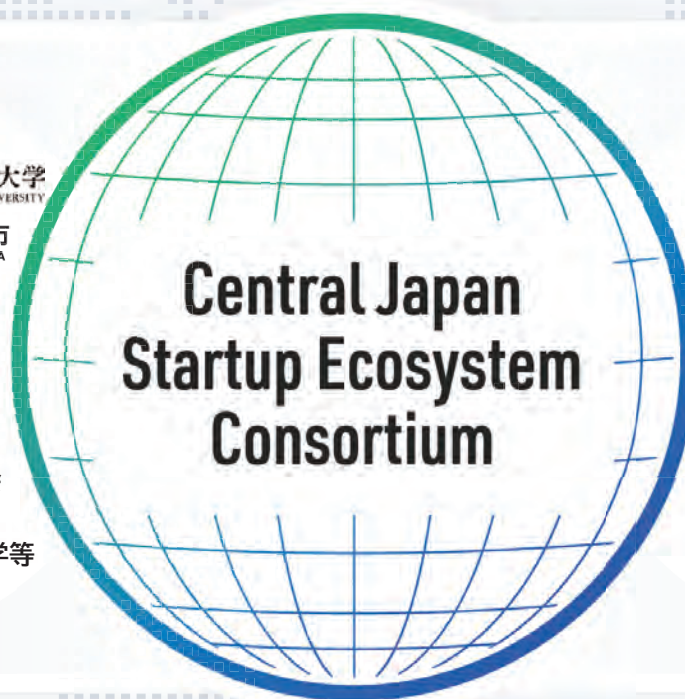


Aichi-Nagoya

Aichi-Nagoya
Startup Ecosystem Consortium

代表者:(一社)中部経済連合会
会長 水野 明久

構成組織:244企業・団体・大学等



Hamamatsu

浜松市スタートアップ
戦略推進協議会

代表者:浜松市長 中野 祐介

構成組織:15企業・団体・大学等

<令和4年度の成果>

成長するCENTRAL JAPANの
スタートアップ・エコシステム



成長するスタートアップ

続く大型調達と成長を続けるCentralのスタートアップ

(令和4年 資金調達実績)



株式会社ティアフォー

調達額 121.7億円
調達後企業評価額 908.1億円
(2022/6/3)



株式会社SkyDrive

調達額 91.2億円
調達後企業評価額 299.2億円
(2022/9/21)

<令和4年 資金調達額ランキング>

	企業名	調達額
1	自然電力	244.4億円
2	LegalOn Technologies	136.6億円
3	ダイナミックマップ基盤	134.1億円
4	ティアフォー	121.7億円
5	アンドパッド	106.7億円
6	Spiber	105.3億円
7	SkyDrive	91.2億円

上位7社のうち2社がランクイン

<INITIAL社 Japan Startup Finance 2022 より>

活躍する大学・学生発スタートアップ

Tongali実施機関 ⇒ 東海4県21大学へ

令和4年 大学発スタートアップ 資金調達額

名古屋大学は **第3位**

	大学名	調達額
1	慶應義塾大学	245億円
2	東京大学	207億円
3	名古屋大学	142億円
4	京都大学	128億円
5	筑波大学	56億円

<INITIAL社 Japan Startup Finance 2022 より>

 OPTIMIND

AIによる、ラストワン
マイル物流の配送最適化。

調達額 約20億円

(2022/12)

 U-MAP Co.,LTD
Ultimate Material and Processing

世界で唯一の独自素材
"Thermalnite"の開発・製
造および、機能性複合素材
の開発。

調達額 約7億円

(2022/12)

 company

複数組織による価値創出の
実現のため、データを暗号
化したまま分析する秘密計
算システムの設計開発。

調達額 約7.9億円

(2022/12
2023/2)

深化するエコシステム

次々と進む新たな交流拠点の整備

日本最大のスタートアップ拠点
「STATION Ai」竣工
(令和6年10月OPEN予定)



(令和4年7月OPEN)

**NAGOYA INNOVATOR'S
GARAGE (3F ANNEX)**

ナゴヤイノベーターズガレージに、新たに3階部分に若者や起業家予備軍が集まる場「ANNEX」がオープン。

(令和4年9月OPEN)
**Idea Stoa
(Tongali)**

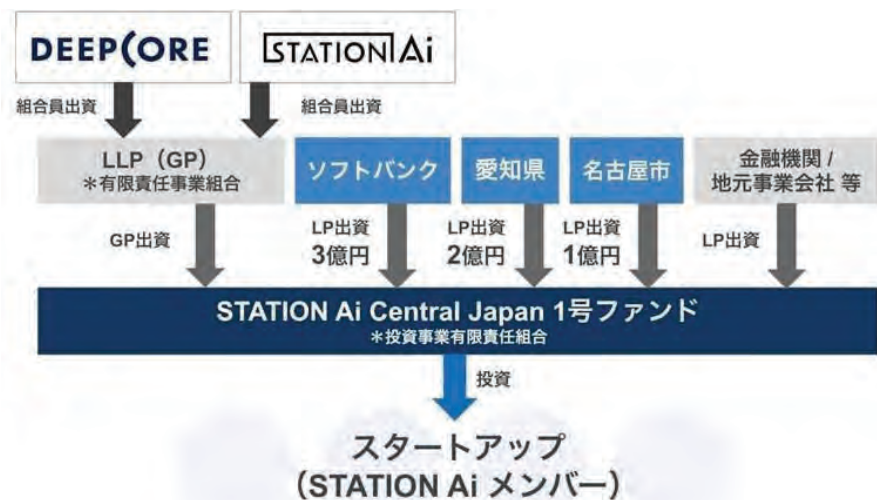
様々なバックグラウンドを持つ研究者や学生が集まり、試行錯誤したり、仲間を集めたり。“Idea Stoa”では、共に何かを創り出すことによって、新たな価値へと繋げていきます。



拡大する投資環境

中部(Central) 発ファンドが次々と創設、シード段階のスタートアップを支援

STATION Ai Central Japan 1号ファンド



総額約15億円

Central Japan Seedファンド



総額約15億円

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

拠点都市の取り組みと成果

(令和4年度末)

内 容

KPI(5年)

実績(累積)

① 起業を志す人材・イノベーション
人材の輩出

10,000人



12,179人

② 様々なプレイヤー間の共創による
新規事業開発件数

1,000件



465件

③ 海外スタートアップ企業と当地域
企業とのビジネスマッチング件数

400件



362件

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

拠点都市の取り組みと成果

(令和4年度末)

内 容

KPI(5年)

実績(累積)

④ 資金調達額

1,000億円



457億円

⑤ スタートアップの起業数

県内 200社
中部圏300社



県内 160社
中部圏255社

⑥ 100億円以上の売上規模のスタートアップ創出
企業評価額1,000億円以上企業創出

10社
5社程度(10年)



1社
—

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

－コンソーシアム全体の取り組み－



イノベーション拠点・コミュニティ

Nagoya Innovator's
Garage



中部圏のこれからを盛り上げるイノベーションの起源として多くの機能を兼ね備え、同じ志を持った人々が集い、イノベーションを生み、世界を変える発想をもたらすイノベーションハブ。

(愛知県名古屋市)

NAGONO CAMPUS



「ひらく、まぜる、うまれる～次の100年を育てる学校～」をコンセプトに、起業家・ベンチャー企業の育成を目的とした名古屋の新しいイノベーション施設。

(愛知県名古屋市)

PRE-STATION Ai



STATION Aiが開業するまでの間WeWorkグローバルゲート名古屋内に「PRE-STATION Ai」を運営。統括マネージャーのメンタリング、集中支援プログラム、勉強会等によりスタートアップの成長を支援。

(愛知県名古屋市)

Idea Stoa
(Tongali)



様々なバックグラウンドを持つ研究者や学生が集まり、試行錯誤したり、仲間を集めたり。
“Idea Stoa”では、共に何かを創り出すことによって、新たな価値へと繋げていきます。

(愛知県名古屋市
名古屋大学内)

FUSE



























事業を立ち上げようとするすべての人が、試行錯誤を繰り返しながらカタチにしていくために必要な設備、環境、そしてコミュニティのすべてが揃い融合する「場」。

(静岡県浜松市)

J-Startup CENTRAL

2023年5月1日時点

<p>IoTDevices/ ICT/Apps</p>  <p>パイフotonics株式会社 PI PHOTONICS, INC HOLOLIGHT</p> <p><i>pinnovation</i></p> <p>LOZI ZIP THE LOGISTICS</p> <p><small>J-Startup</small> </p>	<p>AI/Control</p> <p>Acompany</p> <p>AgreeBit</p> <p> TRYETING</p>	<p>Mobility</p> <p>AZAPA</p> <hr/> <p><small>J-Startup</small>  Tier IV Intelligent Activities For Everyone</p>	<p>Medicine and engineering/BIO</p> <p> </p> <p>GRA&GREEN</p> <p> SILVACOMPASS</p> <p><i>Genial Light</i></p> <p> PREVENT</p> <p> Healthcare Systems</p> <hr/> <p><small>J-Startup</small>  SORA TECHNOLOGY</p>	<p>Manufacture /Materials</p> <p>ANSeeN X-ray COLCR Imaging</p> <hr/> <p> U-MAP Co.,LTD Ultimate Material and Processing</p> <hr/> <p><small>J-Startup</small>  Photo electron Soul</p> <p><small>J-Startup</small>  Magic Shields</p>
<p>Robotics</p> <p>Revolutionary Drones for Professionals PRODRONE®</p> <hr/> <p><small>J-Startup</small> LINKWIZ Robotics & Partners</p>	<p>Service/Platform</p> <p> Aracan</p> <p> crassone</p> <p> KUROFUNO</p> <p> STUDIO UNBUILT</p> <p>Sonoligo</p>	<p style="text-align: center;">   J-Startup J-Startup CENTRAL 28 8 companies </p> <p>Aerospace</p> <p>TERRA LABO</p> <hr/> <p><small>J-Startup</small>  SKYDRIVE</p> <p><small>J-Startup</small>  PD AEROSPACE</p>	<p>Environment/ Energy/Society</p> <p> SyncMOF</p> <p> TOWING 土と、緑で、未来を彩る。 トローイング</p> <p> HAPPY QUALITY JAPAN</p>	

サポーター企業一覧

2023年3月31日時点

46社

事業会社



HR



VC



CONSULTING/STARTUP支援



BANK



MEDIA



COMMUNITY



SETTLEMENT



SECURITIES



INSURANCE



コンソーシアム主催イベント



TOCKIN' NAGOYA 2023

<日時>

3月21日(火・祝日) 10:00~21:00

3月22日(水) 10:00~19:00

<場所>

ナディアパークデザインセンタービル 2~4階

<参加者数>

○3月21日

のべ1802名

うち現地参加者 1367名、オンライン435名

○3月22日

のべ405名

うち現地参加者 219名、オンライン 186名

2日間合計 のべ2207名

スタートアップ・エコシステム拠点強化支援プログラム（国・JETROとの連携）

①地域ブランディング・PR事業

世界の競合都市のベンチマーク調査やブランディング・PR手法のワークショップを通して、PR戦略を策定
メディアリレーションズ(ファムトリップ)の実施

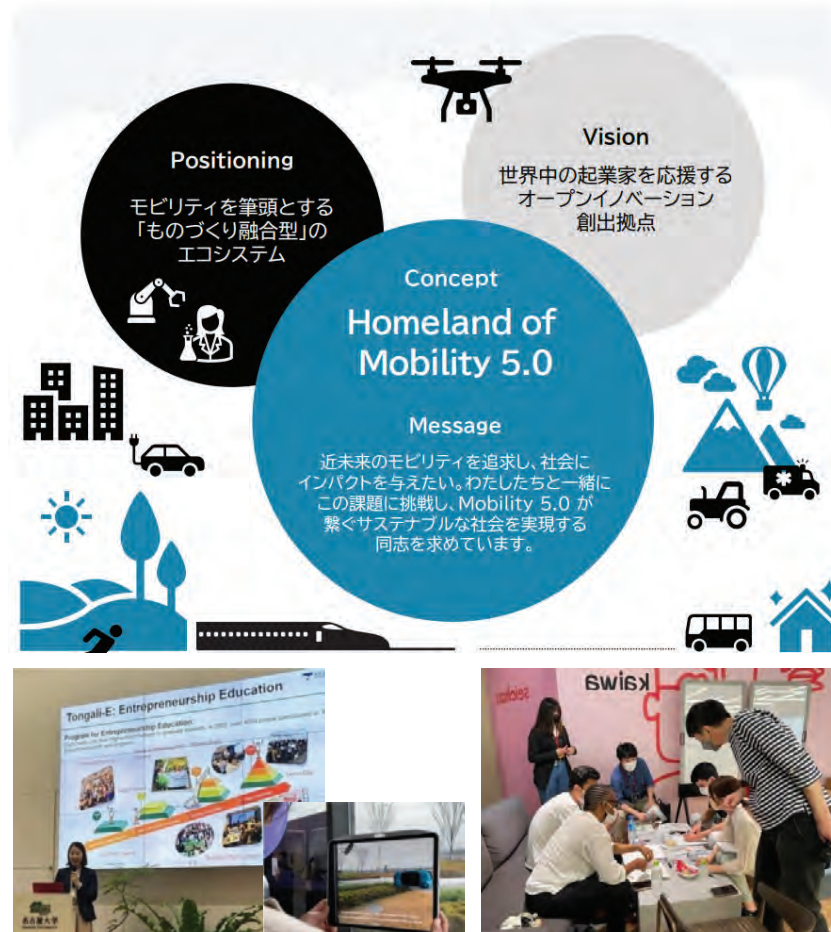
②ハンズオン支援

(海外展開)
スタートアップの要望に応じた海外展開に向けた各種サービスやネットワークを提供

(人材採用)
中部発スタートアップと外国人留学生のワークショップ・ネットワーキングイベントや、外国人材活用にかかるセミナーを開催

③海外拠点都市連携事業

中部圏と同様または補完する産業構造を持つ海外エコシステム拠点都市と連携し、海外市場調査や日本企業向けセミナー、“目利き”のできるキーパーソン招へいを実施



Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

— 地方自治体・民間組織・大学の取組 —



Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

コンソーシアムの4つの方向性

1

卓越した次世代型教育を受けた
人材の輩出

3

海外ネットワークの拡大・深化と
求心力の強化

2

ディープテックを活かした共創・
オープン化による社会実装・
社会課題解決

4

ベンチャーファイナンスの仕組み
を構築

①アントレプレナーシップを持った人材の育成

卓越した次世代型教育を受けた人材の輩出

- 産学官の連携により切れ目のない教育を実施
- 小学生から大学生まで日本最大規模の取組み



小学生
elementary school student
(名古屋市・愛知県)



中学生
junior high school student
(名古屋市・愛知県・名古屋大学)



高校生
senior high school student
(名古屋市・中部経済連合会・愛知県・名古屋大学)



大学生
University student
(名古屋大学等21大学)

トワイライトスクール
(放課後事業)モデル実施
(名古屋市)

令和4年度 参加者数

小・中・高・大学生併せて 約5,000人

グローバルコミュニティによるスタートアップの支援

LAGOYA CONNÉCT

(名古屋市・なごのキャンパス)

米ボストン発、世界6カ国16都市で展開されているイベントプログラム「Venture Café」と連携したイベントプログラムを実施



GLOW TECH NAGOYA

(名古屋市・中部経済連合会)

スタートアップの聖地、シリコンバレーで活躍する講師陣から、グローバルな事業展開に必要な起業家マインドやビジネス戦略を習得

 Global Mindset Program	 GLOW Pitch	 Growing Support Program
 シリコンバレーで活動する講師陣から学ぶ起業家マインドやビジネス戦略	 投資家や企業との接点を生み出すための大規模なピッチイベント	 資金調達や事業化に向けた、ピッチトレーニングやメンタリング

Accelerate Aichi by 500 Global

(愛知県)

世界を代表するVC・アクセラレーター500 Globalと連携し、グローバルレベルのメンターを招へいして実施するスタートアップ支援プログラム



令和4年度 スタートアップ起業数

愛知県 50社 中部圏 81社

大学における企業支援プログラム(Tongali)

大学の研究成果を事業アイデアに展開

GAPファンドやインキュベーションプログラムによって、研究成果の事業化展開を加速させる。
GAPファンドには、2021年度 21プログラム、2022年度は18プログラムを採択。

01 スタートアップ準備資金

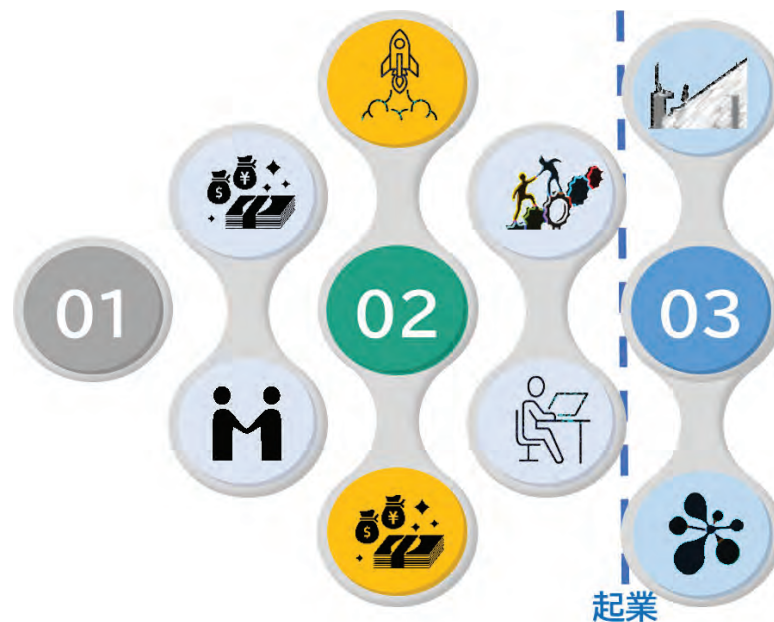
5大学を対象としたシーズ育成金。

研究成果の事業化の可能性を検討するための補助金。

02 GAP ファンド

Tongaliで実施する事業化のための開発資金。

ビジネスプランの仮説検証、起業に必要な知識獲得と、個別メンタリング等のインキュベーションプログラムも同時に実施する。



03 名古屋大学・ 東海地区広域大学VF

起業した大学発ベンチャーを対象としたベンチャーファンド。

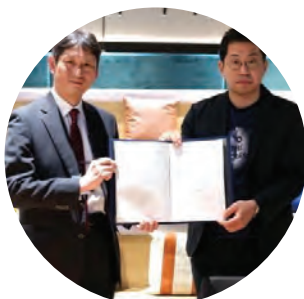
起業したベンチャーには、“名古屋大学発ベンチャー”の称号授与のほか、学内インキュベーション施設のオフィス支援、様々なネットワークを駆使した顧客やVCの紹介なども実施している。



②共創・オープンイノベーション

ディープテックを活かした共創・オープン化による 社会実装・社会課題解決

- 事業会社とスタートアップとの共創による事業創出を支援
- 海外のスタートアップと事業会社とのマッチング
- スタートアップ等の社会実証を支援し、先進技術の研究開発や社会実装を促進



令和4年度
共創による新規事業開発件数
207件

NAGOYA Movement (名古屋市)

スタートアップ企業と事業会社との確度を高めたマッチングとその後の事業創出を伴走型によりサポートするプログラム

AICHI MACHING (愛知県)

愛知県内の事業会社と首都圏などのスタートアップとのビジネスマッチングを行うとともに、事業会社とスタートアップ双方のアクセラレーションプログラムを実施

Accelerate Aichi by 500 Global (愛知県)

国内スタートアップの成長(グロース)支援プログラムと海外スタートアップを誘致して事業会社との協業を促進するプログラムをそれぞれ実施

HATCH TECHNOLOGY NAGOYA (名古屋市)

名古屋市庁内から集めた課題の解決を図る社会実証や、フィールドとのマッチングによる社会実証を支援するとともに、市民が広く先進技術を体験できるイベントを実施

③グローバル化

海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化

- 海外の機関と連携したスタートアップ支援
- 世界に向けたブランド発信



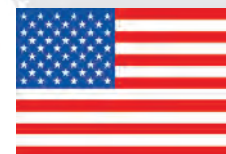
フランス

- STATION F
- INSEAD
- パリ市
- Paris & Co
- IMT Atlantique
- Bpifrance
- AuRA地域圏



中国

- 清華大学
(TUSホールディングス)
- 上海交通大学
- 浙江大学



アメリカ

- テキサス大学オースティン校



シンガポール

- シンガポール国立大学



イスラエル

- イスラエルイノベーション庁
- Start-Up Nation Central

※愛知県の海外連携機関

令和4年度
海外スタートアップ企業と当地域
企業とのビジネスマッチング件数
157件

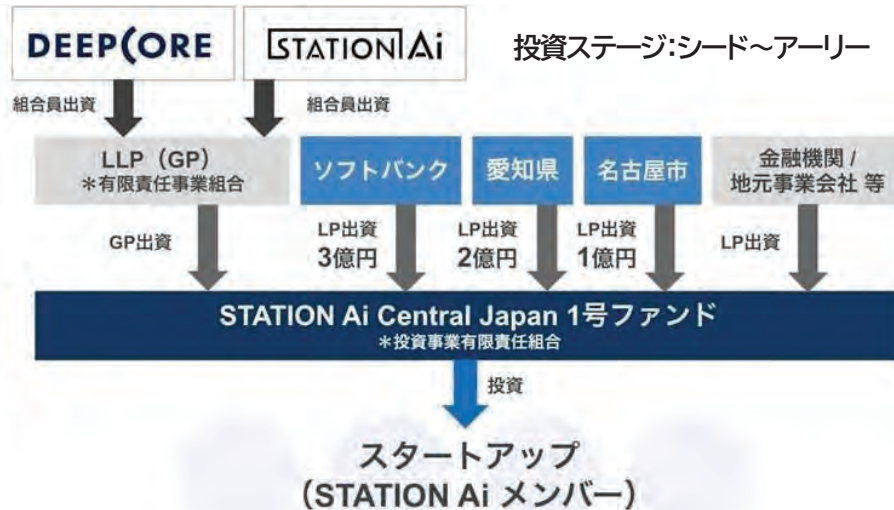
④ファイナンス

資金面からスタートアップの成長を後押し

令和4年 資金調達額(愛知県)
276億円

STATION Ai Central Japan 1号ファンド

ー 愛知県・名古屋市・民間の連携によるファンドの設立



総額約15億円

Aichi Startup Bridge (パートナーVC制度)

ー VCと当地域のスタートアップとのコミュニケーションの機会や投資案件の探索の機会を創出

(愛知県)



パートナーVC 15社

面談件数 278件
(令和3~4年度)

民間組織の取り組み

中部経済連合会 (ナゴヤイノベーターズガレージ)

イノベーション創出エコシステム構築とそれを支える幅広いプログラムを提供



民間組織の取り組み

中部ニュービジネス協議会 (名古屋商工会議所)

中部ニュービジネス協議会 (CNB)は、ニュービジネスの育成と振興を目指すとともに、地域経済・社会の発展に先進的な役割を果たすことを目的として、中部地区の中小から大手までの幅広い企業が結集し1989年に誕生した協議会です。以来経済産業省や関係自治体・諸団体と連携をとりつつ、ニュービジネスに関する様々なテーマを掲げ、CNBベンチャー大賞、ニュービジネスフェア、講演会、会員交流会、スタートアップピッチなどを実施する一方、新しいビジネスチャンス作りやベンチャー・スタートアップ支援を行う等、幅広い活動を積極的に展開しています。

Advanced CNB

2023年 CNBは
さらなる先進性を求めて挑戦し続けます

名称
中部ニュービジネス協議会 (略称:CNB)

設立
1989年6月6日

代表者
会長 永井 淳
(新東工業株式会社 代表取締役 社長執行役員)



会員数
165社 (2023年5月現在)

事務局
名古屋商工会議所

CNBベンチャー大賞2022



なごのキャンパス

OPEN MIX BORN

ひらく、まぜる、うまれる
次の100年を育てる学校

Open,mix,born.
We nurture the next generation.
2019.10 OPEN



【施設所有者】

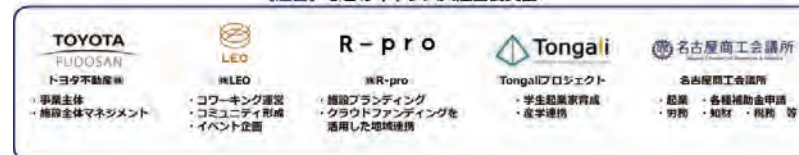
名古屋市

公有財産有償貸付契約 (10年+5年)
2019年4月~2034年3月

【事業主体】

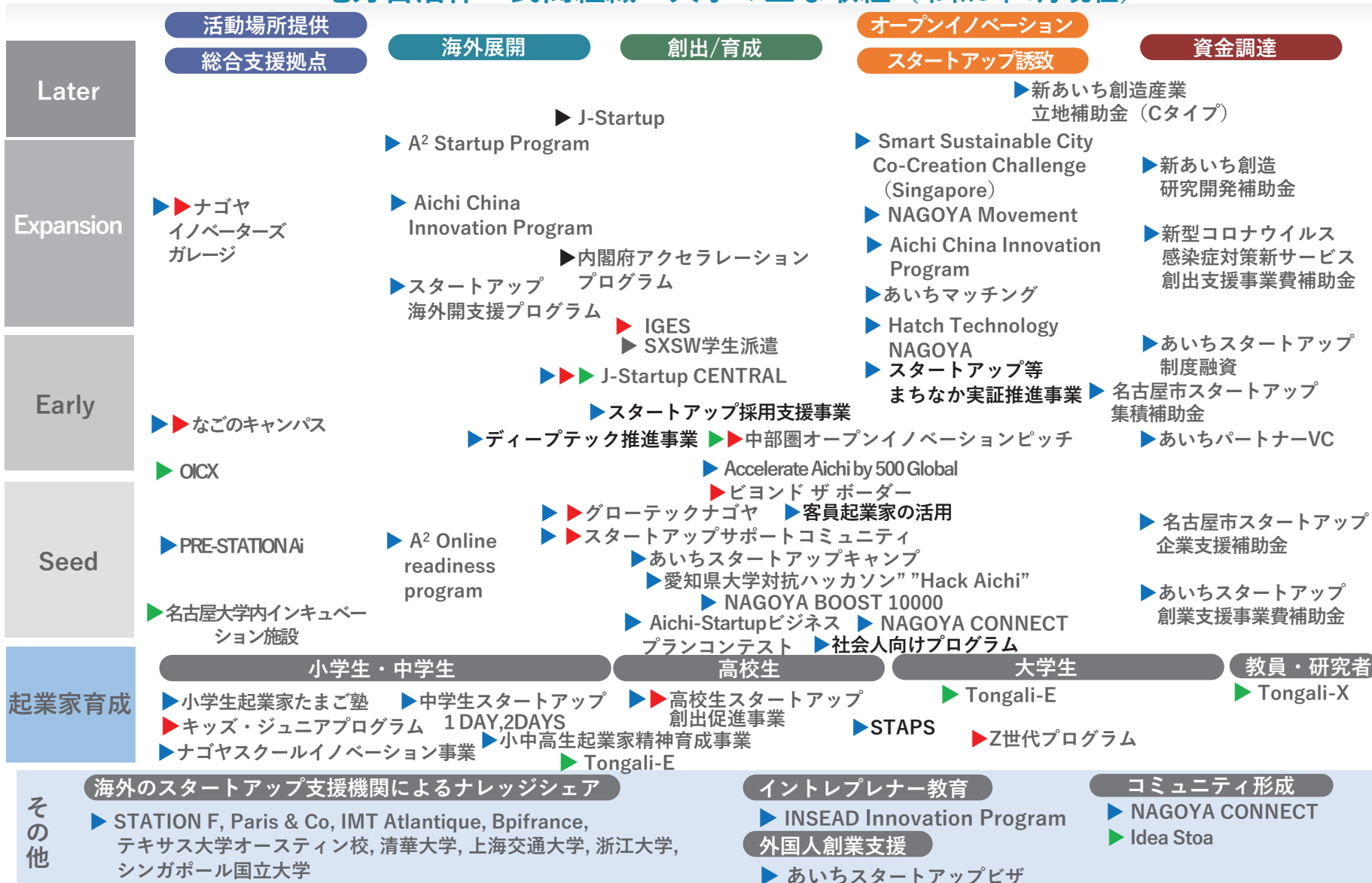
TOYOTA
FUDOSAN

【運営】なごのキャンパス運営委員会



Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

地方自治体・民間組織・大学の主な取組（令和5年4月現在）



産学官が連携し、スタートアップの成長段階に応じて支援

全63事業
137億円

▶ 地方自治体の取組
▶ 民間組織の取組
▶ 大学の取組

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

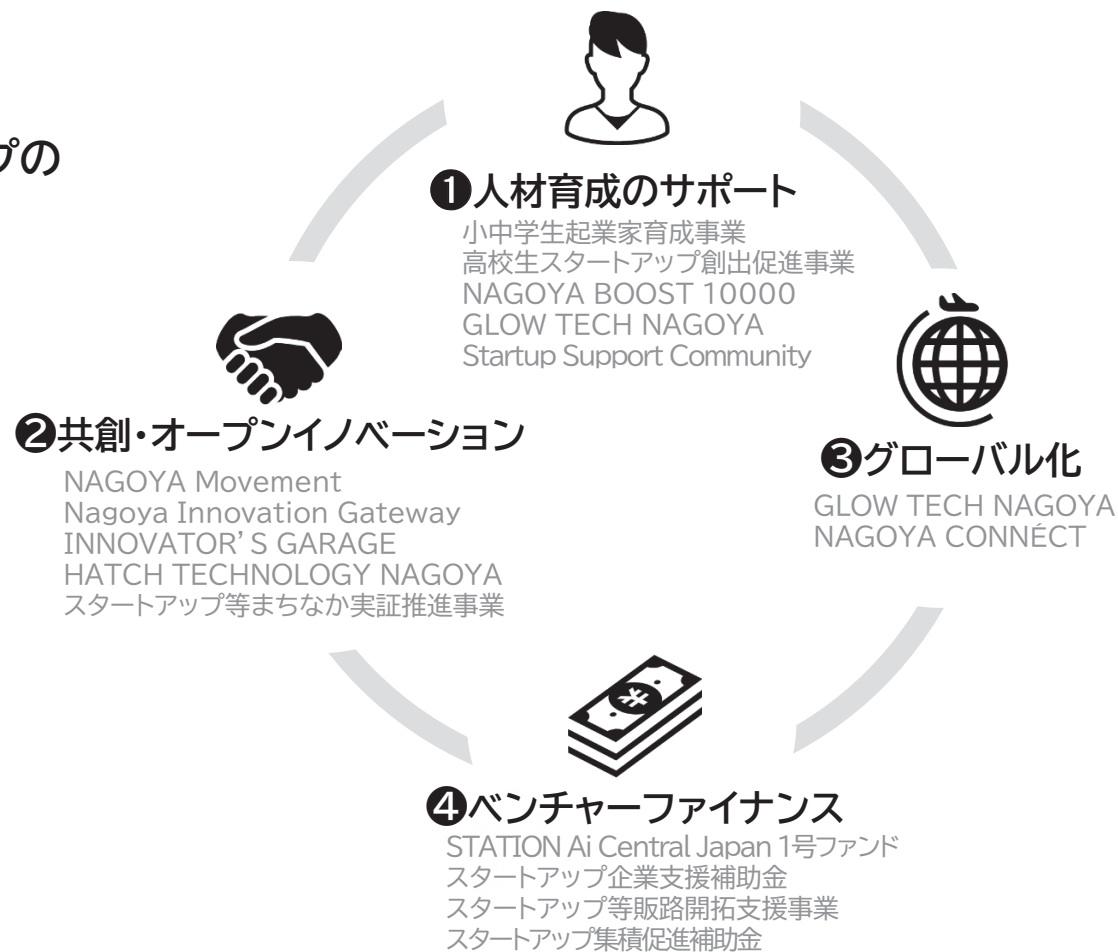
－地方自治体の取組－

名古屋市



名古屋市のスタートアップ支援施策

人材育成から資金調達まで、スタートアップの成長段階に応じた支援を実施



①人材育成のサポート

- 産学官の連携により小学生から大学生までの切れ目のない教育を実施
- 成長段階に応じた段階的プログラムと次のアクションに向けたアフターフォロー
- 起業家のすそ野を広げる日本最大規模の取り組み



小学生

- ・起業家たまご塾 ひよこコース(上級)
- ・起業家たまご塾 たまごコース(初級)

・トワイライトスクールモデル事業(小学校で実施)



中学生

- ・スタートアップ2DAYS(上級)
- ・スタートアップ1DAY(初級)



高校生

- ・ティーンズ・ミートアップ(講演会)
- ・スタートアップユースキャンプ
- ・終了後のフォロー、コミュニティ(中部経済連合会と連携)



大学生

- ・Tongali プログラム(東海地区全域の大学生)

<令和4年度実績(参加者数)>

・小中高生(名古屋市事業)は1,285人

高校生向け
起業体験プログラム



About

起業という生き方を知る

スタートアップ・ユースキャンプは、名古屋から未来のスタートアップ事業創出を目的とした、高校生向けの本格的な起業体験プログラムです。事業説明会を兼ねた講演会イベントを7月に、高校生30名に向けた本番プログラムを7月・8月に実施します。

高校生スタートアップ創出促進事業
Startup challenge for high school students

Phase 01



TEENS meetup - 未来のスタートアップ -

TEENS Meetupは、高校生が現役の起業家たちと出会い、語り合う場です。現役起業家の方をお迎えし、起業を目指すきっかけ、厳しさや楽しさについてお話を伺います。また、本イベントにおいて、「スタートアップ・ユースキャンプ」の説明会も実施します。

(令和4年度 実績)125名

Phase 02



スタートアップ・ユースキャンプ

スタートアップ・ユースキャンプは、高校生が本物の起業家のようにビジネスを創造する、ひと夏の舞台です。

(令和4年度 実績)31名



NAGOYA BOOST 10000

起業を志す人や企業の新規事業担当者を対象としたビジネス創出プログラム。ビジネス創出のためのナレッジやスキルの獲得だけでなく、アウトプットにこだわったプログラム。

②共創・オープンイノベーション

NAGOYA Movement

スタートアップ企業と事業会社との確度を高めたマッチングとその後の事業創出を伴走型によりサポートするプログラム



STEP 1 事業会社向け

事業会社



スタートアップ共創
ノウハウ習得プログラム

STEP 2 事業会社 x スタートアップ

事業会社 スタートアップ



マッチングプログラム

STEP 3 事業創出

事業会社 スタートアップ



伴走型支援プログラム

令和4年度

令和5年度

参加事業会社と募集テーマ

<p>中部電力株式会社</p> <p>中部電力</p>	<p>テーマ1 まちの回遊性向上に資する施策</p> <p>名古屋競馬場跡地の開発エリア及びその周辺にお住まいの方や商業施設等の利用者が移動しやすくなる施策</p> <p>テーマ2 まちの魅力を向上させる施策</p> <p>当社が名古屋競馬場跡地に開発するまちに実装する製品やサービスを広く募集いたします。</p>
<p>矢崎エンジニアリング株式会社</p> <p>YAZAKI</p>	<p>テーマ1 カス漏れ検知器を活用したコトビジネス</p> <p>新たなセンシングデバイスもしくは機能を付加し、サービスを展開することにより従来のモノビジネスからコトビジネスへの転換をはかりたい。</p> <p>テーマ2 ハードウェア、ソフトウェア活用共創</p> <p>日々の生活、特に車道における困り事を、スタートアップ企業様の技術と貴社のハードウェア設計・製造技術を融合し、製品・サービスとして解決したい。</p>
<p>株式会社バローホールディングス</p> <p>valer Holdings</p>	<p>テーマ1 スポーツクラブ「アクロス」利用会員様の設備ごとの活動量の取付と可視化</p> <p>会員様の経済的・心理的負担のない方法で活動量を可視化、最適なトレーニング提案と施設整備を実現する。</p>
<p>株式会社フジミインコーポレーテッド</p> <p>FUJIMI INCORPORATED</p>	<p>テーマ1 マテリアルリサイクルによる地球にやさしい未来の創造</p> <p>製造工程で出る廃棄物の分離や精製を通して、再利用や新規用途展開などによるマテリアルリサイクルへの取り組み</p> <p>テーマ2 リン酸チタンを用いた人や肌によさしい化粧品の実現</p> <p>塗り広げやすく、肌へのダメージが小さい等の特徴的な粒子を用いて人にやさしい化粧品の実現を目標とする</p> <p>テーマ3 特徴的な粒子の市場開拓</p> <p>フジミの独自技術による粒子の特徴を活かした、新製品開発や新市場開拓を共にするパートナーを募集します</p>
<p>株式会社中日新聞社</p> <p>中日新聞社</p>	<p>テーマ1 イベント情報の個別発信ができるカレンダーメディアの実現</p> <p>カレンダーとメディアの機能を融合させ、スマートフォンで快適に利用できるアプリケーション</p> <p>テーマ2 イベント情報のコンテンツ管理を適切にできるカレンダーメディアの開発</p> <p>特に高いスキルがなくても簡単に正確にイベント情報コンテンツが作成できる入力フォームや、ユーザーへ効果的に発信できる仕組み</p>
<p>日本ガイシ株式会社</p> <p>日本ガイシ</p>	<p>テーマ1 カーボンリサイクルの社会実装と拡大</p> <p>CO2を原料などの資源に転換できる技術を持つスタートアップと協業し、貴社のCO2削減を実現することで、資源転換ビジネスを目指す。</p> <p>テーマ2 工場の廃熱利用技術</p> <p>工場から排出される150~200度の廃熱カスを他の用途に活用するソリューション</p>

②共創・オープンイノベーション(社会実証の支援)

先進技術社会実証支援事業

HATCH TECHNOLOGY NAGOYA

01

課題提示型

市内から集めた課題の解決を図る
社会実証を実施(経費支援あり)

(令和5年度)

行政課題	4件	700千円/件
社会課題	4件	4,000千円/件



令和4年度 実証 **8件**
これまでの累計 **26件**

02

フィールド活用型

ネットワークコミュニティ
「Hatch Meets」において施設
等のフィールドと実証ニーズを
マッチング



令和4年度 実証 **7件**
これまでの累計 **18件**

03

先進技術体験事業

市民が広く先進技術を体験できるイ
ベントを実施



Nagoya Innovation Gateway

当地域の共創を一層促進するために、拠点同士を有機的に結び付ける役割を持つ「名古屋市共創コーディネーター」を設置し、拠点間連携や人材・ナレッジの相互交流を活性化させ、企業間の共創やスタートアップが成長し易い環境を整える。

共創コーディネーターの役割

訪問・マッチング

(令和4年度実績)

名古屋に拠点を置く連携施設を中心に訪問を実施、コーディネーターが共創の種を発掘する定期訪問を行う。

訪問件数**281**件

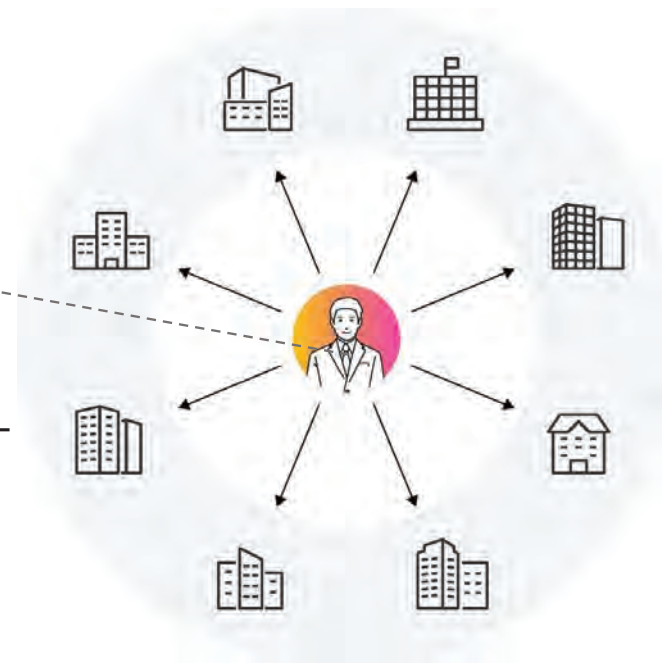
共創に向けたナレッジの共有と関係性の構築

各拠点がつながり、それぞれが持つナレッジの共有や関係性の創発を目的とし、連携施設のコミュニティマネージャーや施設に入居している企業関係者を対象としたイベントやVCとのマッチングイベントを開催。

イベント **3**回 **117**名



共創コーディネーター
株式会社UNERI
河合将樹氏



③グローバル化(成長支援)

スタートアップの聖地、シリコンバレーで活躍する講師陣から、生きた経験や理論を学び、グローバルな事業展開に必要な起業家マインドやビジネス戦略を習得



1 Global Mindset Program



シリコンバレーで活躍する講師陣から学ぶ起業家マインドやビジネス戦略

2 GLOW Pitch



投資家や企業との接点を生み出すための大規模なピッチイベント

3 Growing Support Program



資金調達や事業化に向けた、ピッチトレーニングやメンタリング

スタートアップの聖地、シリコンバレーで活躍する講師陣から、生きた経験や理論を学び、グローバルな事業展開に必要な起業家マインドやビジネス戦略を習得



Global Mindset Program



吉川 欣也

Yoshinari Yoshikawa

株式会社REPUBLIC 代表取締役社長



足立 崇彰

Takaaki Adachi

ヤマトホールディングス 株式会社 Senior R&D Executive



池田 俊

Shun Ikeda

Google LLC, Growth Marketing Manager



井田 哲郎

Tetsuro Ida

Head of Japan (Country Manager) / 日本代表 @Nauto



碓氷 裕彦

Hirohiko Usui

碓氷特許事務所 所長
株式会社デンソーウェーブ 知財顧問
名古屋大学 経済学部 招聘教授



加藤 道子

Michiko Kato

Principal at Woven Capital



衣川 順志

Junji Kinugawa

株式会社大大大吉 代表取締役



櫛田 健児

Kenji Kushida

Senior Fellow at the Carnegie Endowment for International Peace



傍島 健友

Ken Sobajima

Tomorrow Access LLC Founder & CEO



加藤 真吾

SHINGO KATO

Megagon Labs Inc., Technical Program Manager



Youngrok Kim

Youngrok Kim

GREE LP Fund US Partner, Head of Investments

東海のスタートアップを強力にサポートするコミュニティ

STASUPPO

スタサポ Startup Support Community



STASUPPO -スタサポ とは

STASUPPOは、東海地域のスタートアップ起業家のための、事業プランの相談や事業拡大に向けた人脈づくりを支援するコミュニティです。



①メンターとのマッチング

スタートアップが日々直面する課題に対して、相談が可能なメンターをマッチング。資金調達や人材獲得の悩み、海外展開に必要な考え方、ビジネスモデルを検討するための気軽な壁打ちなど、ニーズに合ったメンターを紹介。

②起業家仲間との交流

スタートアップ同士が参加する交流会イベントを実施。お互いの得意分野や技術分野で補完関係を築いたり、課題感や過去に取り組んだ経験などを共有。

③スタートアップ支援情報の発信

募集締切が近いビジコン・ピッチ情報、アクセラレーションプログラム、補助金、インキュベーション施設などの役立つ情報を、毎月まとめて発信。

③グローバル化(コミュニティ)

NAGOYA CONNÉCT

米ボストン発、世界6カ国16都市で展開されているイベントプログラム「Venture Café」と連携し、月2回なごのキャンパスにてイベントプログラムを実施。社会に対してイノベーションを生み出そうとする起業家やこれから起業を志す人、企業の新規事業担当者、VC・CVCなどの投資家、インキュベーター、アクセラレーター、行政、大学関係者、研究者など多様なイノベーターが集う。

Impacts

2020.7.31 – 2023.3.31

6,565

Innovators

45

NAGOYA
CONNECTS

155

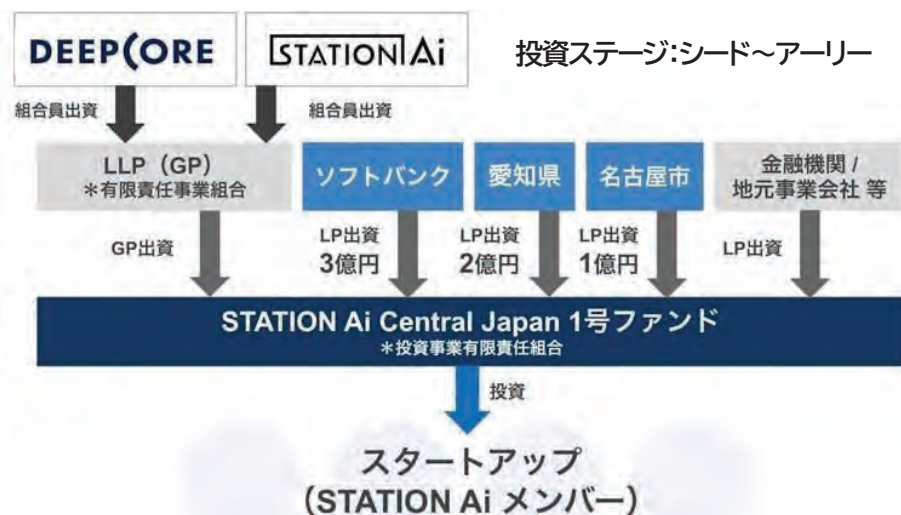
Sessions



④ファイナンス支援

資金面からスタートアップの成長を後押し

- 県・市・民間の連携によるファンドの設立
(STATION Ai Central Japan 1号ファンド)



- スタートアップの起業から進出まで、幅広い補助制度

スタートアップ企業 支援補助金

市内での新規創業者等を対象に、創業時等に必要経費を支援

- ・補助率
補助対象経費の1/3以内
- ・限度額
1,000千円

スタートアップ等販路開拓 支援補助金

東京23区内の拠点に進出する場合に賃料等を補助

- ・補助率
補助対象経費の1/2以内
- ・限度額
1,000千円

スタートアップ集積促進 補助金

本市初進出のスタートアップ企業を対象に、事業所の賃借料等を補助

- ・補助率
補助対象経費の1/2以内
- ・限度額
700千円

※補助要件・対象経費等詳細は別途、確認ください。